

総合スポーツ医学センター

◎ 総合スポーツ医学センターとは

平成29年10月、当院に総合スポーツ医学センターが設置されました。従来、徳島大学病院では整形外科が中心となってスポーツに起因する外傷を診療してきました。しかしながら、スポーツに起因する受診は手や足の外傷のみにとどまらず、脳や脊椎の損傷や熱中症など多岐に渡っており、複数の診療科が関わる必要がある事例もあります。当センターではそういった事例にも多診療科が連携して対応します。2020年、東京オリンピックが開催されることとなり、国民のスポーツに対する関心は高まっています。当センターはプロから一般、スポーツを愛する全ての方を医学的な立場で支援することを目指します。

総合スポーツ医学センター



○診療部門○

スポーツ関連外傷や疾病の診療を行います。

○相談部門○

栄養管理、アンチ・ドーピング、メンタルサポート等の相談・指導を行います。



○広報・啓発部門○

地域の学校やスポーツ団体への研修・啓発事業やスポーツに必要な医療専門職の育成を行います。

○研究部門○

スポーツ外傷の予防や治療、新規器具や栄養食品などの研究・開発を行います。



特色

徳島大学病院の整形外科はスポーツ外傷に対する診療に長年尽力してきました。今ではプロのスポーツ選手も徳島大学病院を選んで受診していただくことが多くあり、スポーツ外傷に対する実績が全国に認められています。また、センター長自身も日本柔道連盟医科学委員会委員長を務め、国際試合への帯同や「柔道安全指導講習」の作成などに尽力しており、日本のスポーツ発展に医学的な立場から貢献しています。当センターはそのような強い基盤の上に誕生しました。また、当院には多くの診療科と施設があります。それらがスムーズに連携して、治療・相談指導・研修教育を行えるように当センターが活動します。

平成29年10月、
総合スポーツ医学センター始動!



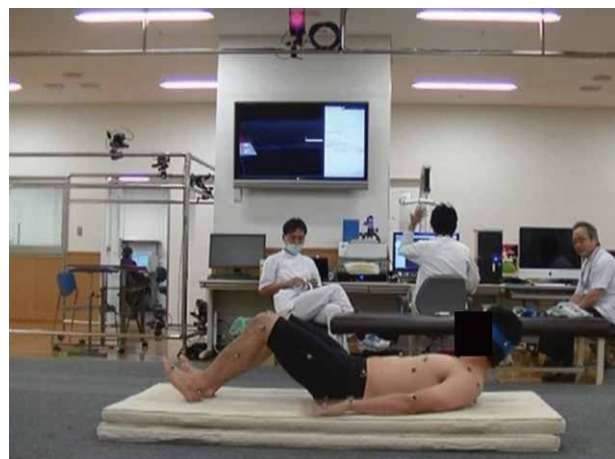
■説明は、
総合スポーツ医学センター
永廣信治（ながひろ・しんじ）センター長

◎ 教育・研究機関として

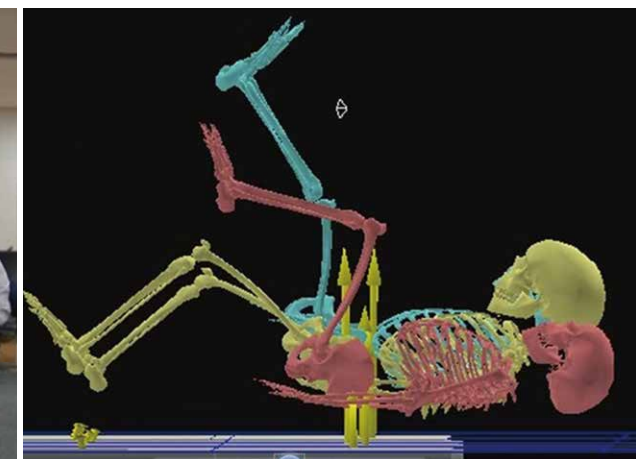
徳島大学病院は医療機関であると同時に教育・研究機関でもあります。若い人材のスポーツ医療に対する意識を高めていくことが日本のスポーツ界に貢献することはもちろん、医学・歯学・薬学・栄養学の研究部門が同じ敷地にあり、協力・連携しやすい環境にあることが、スポーツ関連外傷・疾病の研究にも役立っています。加えて常三島地区の他学部とも連携し、スポーツ外傷や疾病の予防研究も行っています。また、地域の学校やスポーツ団体に、外傷の予防や応急処置、栄養学的な講義やアドバイスをする地域貢献も行います。

患者の皆様へ

プロや一般の方問わず、怪我や体調が原因でスポーツを断念する方がいらっしゃると思いますが、医学的なサポートやアドバイスでスポーツを続けたり、良い成績を上げたりする手助けができと思っています。当院の総合スポーツ医学センターでは、今後、外来リハビリテーションの充実にも力を入れ、幅広い方に徳島大学病院を利用してもらうことを目標にしています。何歳になってもスポーツを楽しめる方が増えていけば幸いです。



↑脳神経外科とリハビリテーション部の共同研究「受け身の運動学的解析」



↑8台の赤外線カメラを使い、反射マーカの動きを解析。一般人・学生経験者・有段者の受け身時の動きを比べ、頸部への負担を解析するもの。